

街づくり提案
浦安の市民団体

1周年 あす報告会

浦安市の街づくりを考え提案している市民の会、「海・まち・デザイン」が創立1周年を記念して「水辺をいかしたまちづくりデザイン」の集

いを15日午後2時から、浦安市の日の出公民館で開く。

同会のこの1年間の活動で、最大の成果は三番瀬に面した低層住宅地区の開発についてUR都市機構と行ったワークショップ。この地区は四つの区画からなるが、昨年3月から4回開いたワークショップの中で、同会は「街並みを統一するために区画ごとに

切り売りしないで、広域で販売して開発して欲しい」と訴えてきた。

昨年10月、URはこの4区画のうち3区画7万3700平方メートルを一括して販売する案内をHPに掲載した。同会では「私たちの思いを取り込んでくれた」と評価している。

この他にも、かつて浦安沖でとれた魚のアオギスの張りぼてをつくり、これを持って市のイベントなどに参加して、漁師町だった元町の市民と埋め立て地のマンション街に住む新市民とのふれあいを

演出してきた。

集いの当日は、こうした活動報告に加えて、三番瀬を生かした自然公園のあり方や境川を使った新しい交通手段の可能性について会から提案する。その後、参加者を交えて、浦安の街づくりについて意見交換する。

参加は無料。問い合わせは同会事務局（047・355・7166）へ。